デジタル化、持続可能な社会での
革新にチャレンジして、未来を共創する

一般社団法人
信州産学みらい共創会

ご紹介

INNOVATION　HUB　NAGANO

一般社団法人　信州産学みらい共創会
〒380-8553 長野市若里4-17-1
信州大学工学部内　SASTec　1階
TEL：026-269-5384 / FAX：026-269-5731
E-mail：info@kyosokai.or.jp
URL　：https://www.kyosokai.or.jp/

目 的 ・ 方 針

産学官の連携・協働活動を推進することにより

◆科学技術の発展を図る

◆斬新な “みらい産業を共創” し、産業振興に寄与する

◆地域への貢献を行う

多様な知識・経験を融合して活動する

生 い 立 ち

◆ 1994年　文部科学省が全国の国公私立大学に対し、産学官連携組織
【地域共同研究センター（CRC）】の創設を指示

◆ 1995年　信州大学工学部に教員の研究を支援する組織を創設(会員数:29)

CRC研究協力会

↓

◆ 2009年　信州大学ものづくり協力会

更なる発展と活動の強化

→

◆2011年　信州大学ものづくり振興会

↓

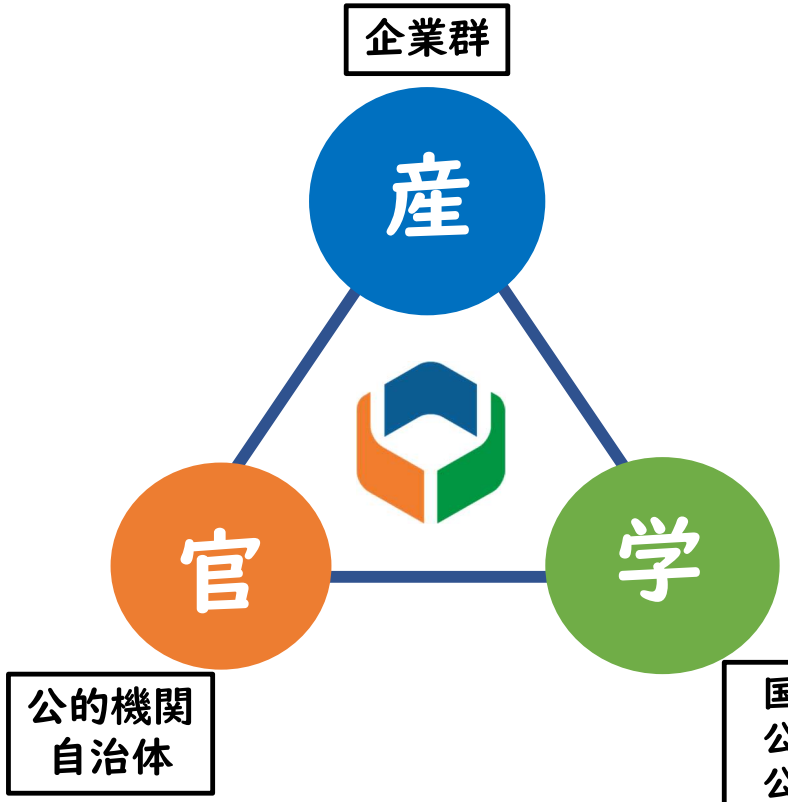
◆2020年　信州大学みらい産業共創会

法人化

↓

◆ 2023年4月6日　**一般社団法人 信州産学みらい共創会**　として設立 !!

当会の構成



国立大学法人 信州大学
公立大学法人 長野県立大学
公立 諏訪東京理科大学
八ヶ岳中央農業実践大学校
長野県工科短期大学校
長野県南信工科短期大学校
松本大学
公立大学法人　長野大学

産・学・官の知識と経験を結集させて

産業や社会の革新に挑む

Professional Group

会員の構成・推移

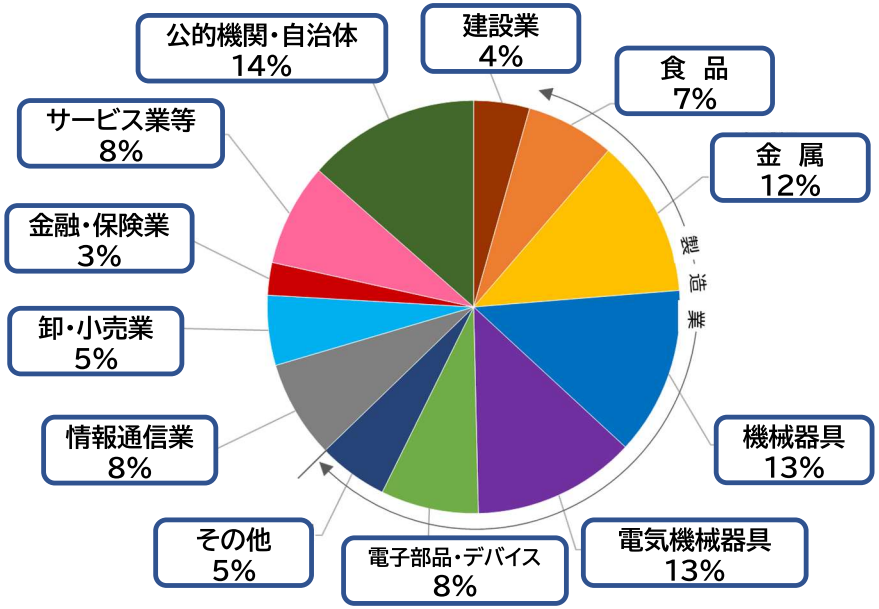
一般社団法人
信州産学みらい共創会

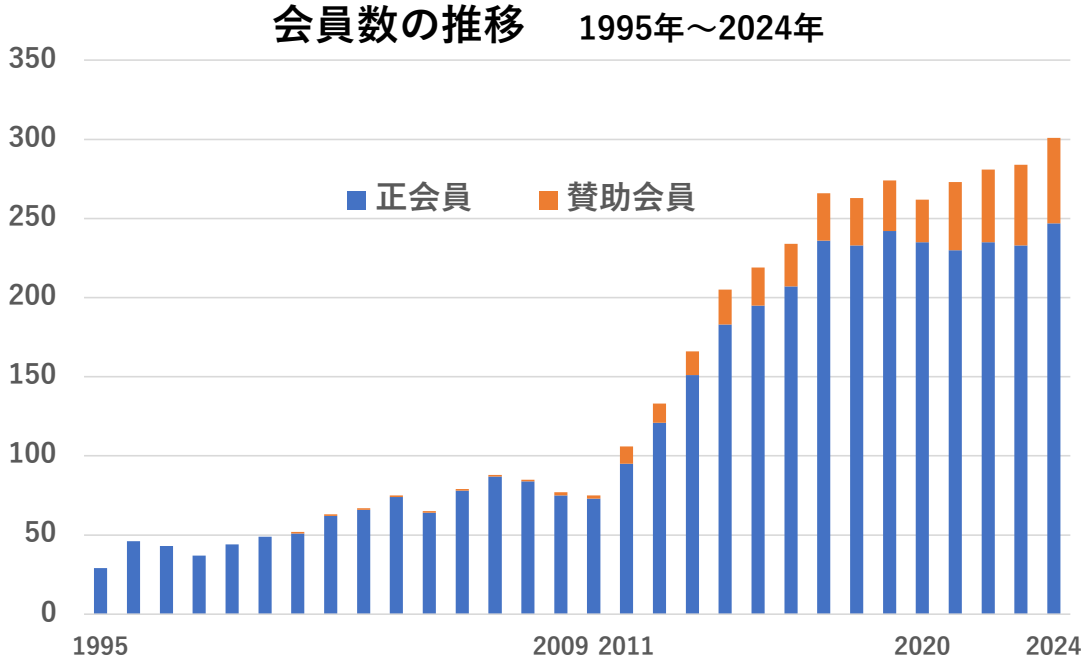
正会員
＜年会費5万円／口以上＞

：当会の目的に賛同して入会した
法人、団体、個人＝社員

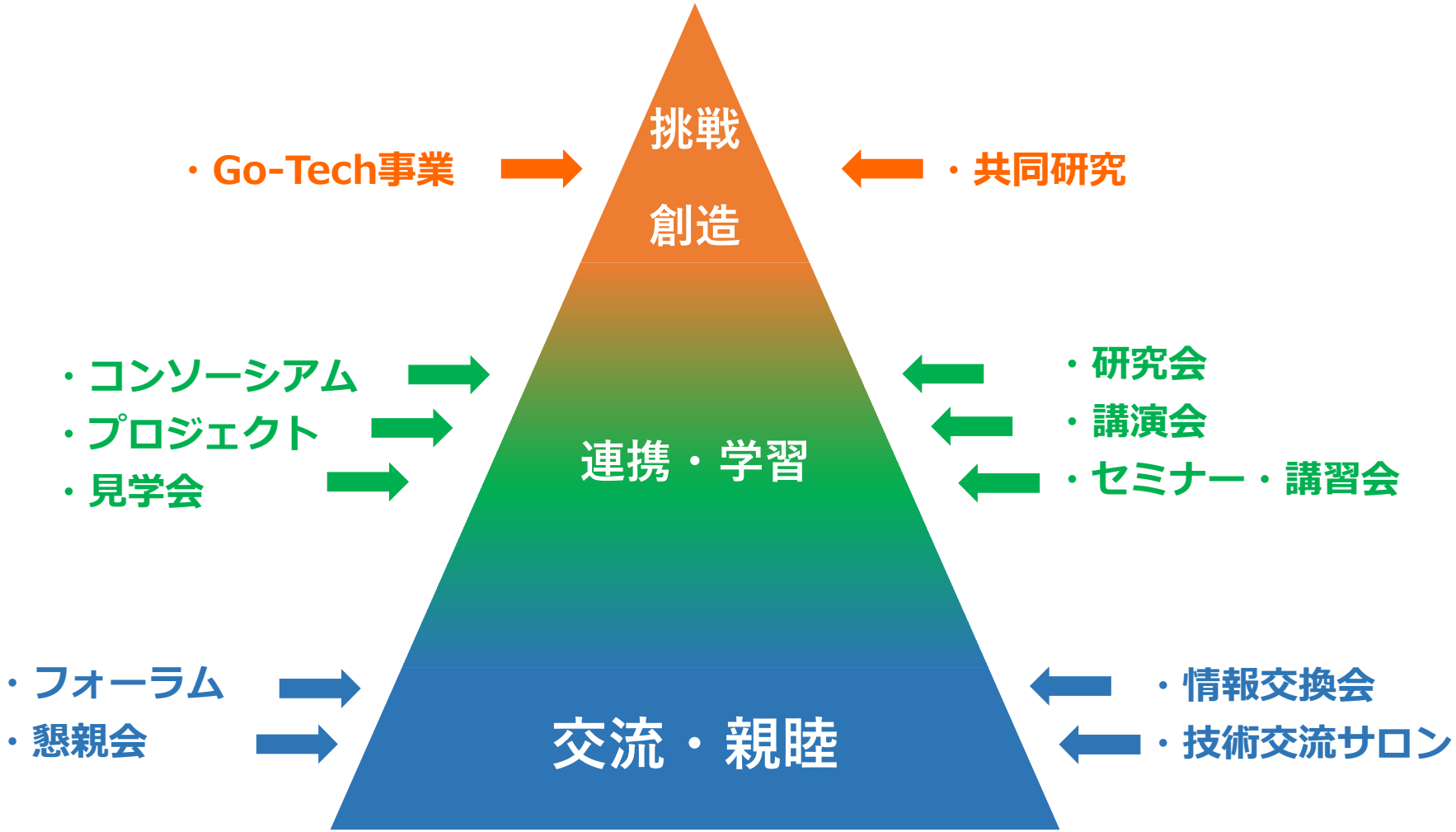
賛助会員
＜年会費無料＞

：当会の事業を賛助するために入会した
営利を目的としない法人、団体、行政機関





事業活動の展開


挑戦
創造
・Go-Tech事業
・共同研究
連携・学習
・コンソーシアム
・プロジェクト
・見学会
・研究会
・講演会
・セミナー・講習会
交流・親睦
・フォーラム
・懇親会
・情報交換会
・技術交流サロン

社会貢献に寄与するコンソーシアム活動

一般社団法人　信州産学みらい共創会

健康・安全な社会	次亜塩素酸水、高機能酸化チタン、長波紫外線などの除菌技術
SDGsの実践	住宅建設時に発生する廃材の利活用技術
新機能材料の開発	廃棄する渋柿の皮を活用する食品防腐剤
農業の革新	脱化学肥料、農薬に代わるバイオスティミュラント、IOT、AI技術の導入
防災・減災	河川の自動監視、水門の開閉を遠隔で自動操作
省エネ・再生エネルギー	高性能小水力発電の普及
観光産業の革新	DX導入による観光産業、地域の活性化
ジビエの普及	捕獲獣を現地から保冷して運搬するパワー搬送車の導入

会員が自ら参画して活動するプログラム

1. 会員の共通テーマの取組・実践活動

研 究 会

- DX（変革に向けた人材育成）
- SDGs/ESG
- 先端自働化・ロボティクス

2. 類似事業企業群の協働と普及活動

コンソーシアム

- HYBRID除菌
- 柿皮エキス利活用
- スマート・グリーン農業
- 河川のマネジメントと小水力発電の普及
- ジビエ高効率活用
- SDGsを実践する建築工学

3. 独自研究・開発品の実用化推進

プロジェクト

- 菊芋加工品の機能性表示食品化
- 保安・監視付き開閉門
- 光触媒抗菌剤を塗布したLED照明器具
- 酸化ガリウム基板を用いたハイパワー半導体

会員への支援活動

経営課題の解決

- ◆ 売上の拡大
- ◆ 新商品の開発
- ◆ 知的財産の創出・権利化

→ 専門のコーディネーターが対応

- 売上の拡大 → 販路開拓の伴走支援
- 新商品の開発 → 大学、研究機関との共同研究構築
- 知的財産の創出・権利化 → 弁理士が相談対応

人材の確保

→ 求人・求職のマッチングを支援
（有料職業紹介所に登録済）

補助金の獲得

→ 申請書のブラッシュアップ、管理法人受託